

「Journal of the Japanese College of Radiology」

投稿規程

2023年9月1日 一部改訂

趣旨

Journal of the Japanese College of Radiology (JJCR)は研修医、医学生あるいはすべてのJCR会員を対象に、放射線医学・医療に関する症例報告や研究報告、総説、学術的コメントのための論文を募集します。この事業の目的は、日常診療に直結した放射線医学に関する情報を会員が共有することや、若い放射線科医師が症例をまとめて論文を書く訓練をする、あるいはその楽しみを味わい伝えることです。国際化の時代ではありますが、日本語で書かれ、過度な形式にとらわれず、読みやすくタイムリーな情報を共有することは本邦の放射線科医のコミュニティーにおいて日常診療に裨益し、多大なインパクトがあると考えられます。よって、本文は平易な日本語での論文を望みます。また、その一方において多様性の時代背景を鑑み、英語での論文も受け入れます。査読はJCR役員を中心に、またその他の放射線医学・医療に精通した放射線科医、研究者が行い、採択後はオープンアクセスの電子媒体(J-STAGE)に全文が掲載されます。本ジャーナルの長期的な目標として、American College of Radiologyの機関紙であるJournal of the American College of Radiology (JACR) (IF4.268)のJCR版を視野にいています。投稿資格は筆頭著者として医学生、JCR準会員、JCR正会員が投稿可能です。責任著者はJCR正会員であることが必須です。

投稿規定(細則)

投稿論文は、放射線医学・医療に関するもので、未発表のもので二重投稿ではないものに限る。また、発表論文は全て、ヘルシンキ宣言に則り、患者プライバシーの保護、インフォームドコンセント取得等、今日的な倫理規範に則った内容、手段を用いていることとする。

投稿論文の区分は、次による。

(1)「原著論文[Original Article]」は独創性に富み、目的、方法、結論等の明確な研究論文。本文は要旨、緒言、方法、結果、考察から構成される。日本語による投稿において要旨は和文とする。

(2)「症例報告[Case Report]」は学術的に興味ある症例で、日常診療に資する教訓に富む症例。

(3)「ノート[Short Communication]」は独創的ではあるが、部分的または断片的な研究を簡潔にまとめた論文。

(4)「レター[Technical Note]」は技術的な工夫や臨床上有用な知見に関する短報。

(5)「総説[Review]」は放射線医学についての今日的な話題に関する総括的解説および提言とし、特定のテーマについて過去の研究などを概観し、将来的展望を視野においた論評および総括、あるいは編集委員会からの依頼により投稿されたものとし、その様式は編集委員会が定める。

(6)「編集者への手紙[Letter to the Editor]」は掲載論文への意見・批判およびその回答、その他会員に告知したい重要な知見。

(7)「資料[Other Radiology-related Issue]」は放射線医学に関係ある基準、規程等広く会員に知らせるべき重要な知見を記したものの。

(8)「放射線医学史[History of Radiology]」は放射線医学の歩みに関して従来見逃されてきた真実、若い放射線科医師や放射線医学のコミュニティーが知っておくべき歴史に関して記載したもの。

すべての論文において、J-STAGE掲載のために英文要旨を必要とする。

投稿論文は責任著者が電子媒体の形でまとめEmailの添付書類としてcover letterを添えてJCR事務局(office@jcr.or.jp)に送付されること。投稿論文を受理した日と受理番号を、編集委員長

名で責任著者に通知する。

投稿論文の採否は、編集委員会の指定する複数査読者の意見を参考にして編集委員会で決定し、責任著者に通知する。

編集委員会は、著者に原稿の修正を求めることができる。また、編集作業上必要な変更は、編集委員会の責任で行うことがある。

掲載された論文の著作権は、日本放射線科専門医会・医会に帰属する。

原稿の書き方は、次による。

(1) 原稿は、原則和文とするが、英文も可とする。J-STAGE への掲載のため、すべての投稿論文において英文要旨を必要とする。和文論文には和文要旨も必要とする。

原則として MS Word を使用し、A4 判、縦置き、横書き 40 字 x20 行を原則とする(文中の英文は半角が望ましい)。手書きは受け付けない。

(2) 原稿の構成は、表紙、本文、引用文献、英文要旨、表、図の説明、図の順とし、本文の 1 ページ目から順にページ数を記入する。

(3) 表紙には、原稿の区分、表題、筆頭著者名 (JCR 会員番号)、責任著者名 (JCR 会員番号)、責任著者連絡先(所属機関名、同所在地、電話番号、ファックス番号、 E-mail address)を記す。

(4) 1 頁目には表題、著者名(全員)、所属機関名、キーワード(英文 5 項目以内)のみを記載し、2 頁目から本文を記載する。利益相反のある著者・共著者については、その内容を記すこと。

(5) 薬剤名、機器名、撮像法名、等は極力一般名にて記載し、商品名は括弧内に付記するものとする。

(6) 原稿中に英文を用いることは人名、文中での図表の指示等を除き、原則として避ける。また、やむを得ず用いるときは、固有名詞や特別の理由のない限り小文字を用いる数字は算用数字、単位は SI 単位を用いる。

(7) 引用文献の記載順序は引用順とし、その表記法は Vancouver 方式に従う。著者が 7 名以上の場合は最初の 3 名のみ記載して、"et al."を記す。

論文

Yamada K, Wu O, Gonzalez RG, et al. Magnetic resonance perfusion-weighted imaging of acute cerebral infarction: effect of the calculation methods and underlying vasculopathy. Stroke. 2002;33(1):87-94.

書籍

Powers WE, Ratanatharathorn V. Palliation of bone metastases. In: Perez CA, Brady LW, editors. Principles and practice of radiation oncology. 3rd ed. Philadelphia: Lippincott Raven; 1977.pp. 2210-7.

(8) 英文要旨は、表題、著者名(全員)、所属機関およびその所在地、本文(300 語以内)とする。

(9) 図(写真等)・表は、記載順に通し番号(Fig.1,・・・Table 1" ,)を付け、1 図 1 表ずつ別ファイルとする。

① 手書きの図・表は受け付けない。

② 図のファイルフォーマットは tiff (300dpi 以上)を用い、表のフォーマットは excel とする。図表は伝達すべき情報の詳細を判じうる適正な解像度で作成すること。

③ 図・表のファイル名は通し番号(Fig.1,・・・Table 1" , など)とする。

(10) 図(写真等)の説明は和文、英文を併記し、本文を参照しなくてもその内容がわかる程度に簡潔に記載する。表の形式は英文とする。

(11) 英文論文の投稿の際には英文校正企業・サービスなどにより英文校正がおこなわれたことを示す証明書を添付する。

投稿料は実費、事務費用を鑑みて請求を行う。請求額は別途ホームページ上に提示する。

著者校正は 1 回を原則として、返送期日を厳守すること。

掲載された論文の著作権は日本放射線科専門医会・医会に帰属し、その全部または一部を無断で他紙に掲載してはならない。

別刷は原則として作成せず、著者には PDF を提供する。日本放射線科専門医会・医会会員は必要に応じて、JCR の website からダウンロードすることができる。

著作権の委譲その他、倫理規定誓約について

表題:

分類:

- 原著
- ノート
- レター
- 症例報告
- 総説
- 編集者への手紙
- 資料
- 放射線医学史

表記の論文に関する著作権を日本放射線科専門医会・医会に委譲します。

また、表記論文がヘルシンキ宣言に基づく今日的倫理規定に則って行われた研究であることと、その内容がこれまでに未発表のものであることを誓約します。

筆頭著者 _____ 年 月 日

共著者 1 _____ 年 月 日 共著者 7 _____ 年 月 日

共著者 2 _____ 年 月 日 共著者 8 _____ 年 月 日

共著者 3 _____ 年 月 日 共著者 9 _____ 年 月 日

共著者 4 _____ 年 月 日 共著者 10 _____ 年 月 日

共著者 5 _____ 年 月 日 共著者 11 _____ 年 月 日

共著者 6 _____ 年 月 日 共著者 12 _____ 年 月 日

利益相反

以下に著書・共著者の利益相反(給与、個別会社の株式保有、講演料など)について簡潔に記載すること(ただし、記事に関連する項目のみとし年間百万円以下の項目に関しては記載する必要はない)。

以上